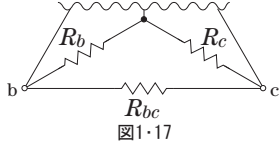
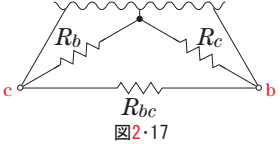
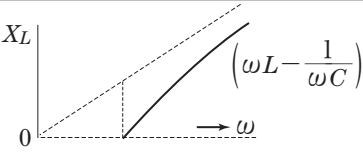
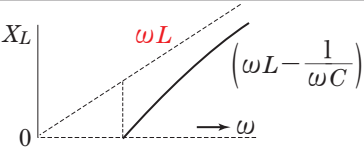
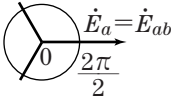
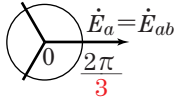
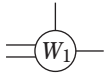
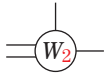
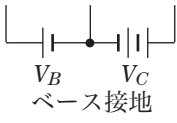
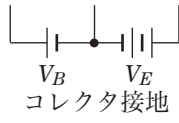


ページ	場 所	誤	正
10	図1・11の左端	l [m]	d [m]
28	下から 1行目	は反発力, 反対方向のときは吸引力となる.	は吸引力, 反対方向のときは反発力となる.
62	上から 8行目	R_0 : 合成抵+抗, R_1, R_2 ~略~	R_0 : 合成抵抗, R_1, R_2 ~略~ 《「+」を削除》
68	上から 1行目	A. 静電気に関するクーロンの法則	《「見出し」を削除》
72	右下の図番号 図2・17下側	 図1・17	 図2・17
96	上から 5行目	~略~ 短絡する)とすると, 12[A]が12[Ω],	~略~ 短絡する)とすると, 14[A]が12[Ω],
100	下から 2~3行目	式(3・4)のベクトル量の和 ~略~ ~略~ 表される. また, 式(3・5)の差 ~略~	式(3・5)のベクトル量の和 ~略~ ~略~ 表される. また, 式(3・6)の差 ~略~
105	下から 9行目	~略~ 電圧が $e=282\sqrt{2}\sin(100\pi t+150^\circ)$ [V]	~略~ 電圧が $e=282\sin(100\pi t+150^\circ)$ [V]
106	上から 7行目 上から 9行目	$I=\frac{I_m}{\sqrt{2}}=0.707I_m$ $E=\frac{E_m}{\sqrt{2}}=0.707E_m$	$I=\frac{I_m}{\sqrt{2}}=0.707I_m$ $E=\frac{E_m}{\sqrt{2}}=0.707E_m$
108	図3・13(a)		
115	上から11行目	$E=\sqrt{50^2+40^2+20^2}=67.1$	$E=\sqrt{50^2+40^2+20^2}=67.1$ [V]
140	下から11行目 下から6~7行目	(問3・28) 2 $\omega_0 \sim \text{略} \sim = \frac{1}{\sqrt{25 \times 10^{-8}}} = \frac{1}{5 \times 10^{-4}} = 2 \times 10^3$	(問3・28) 5 $\omega_0 \sim \text{略} \sim = \frac{1}{\sqrt{25 \times 10^{-10}}} = \frac{1}{5 \times 10^{-5}} = 2 \times 10^4$
152	図4・10(b) 下から13行目	 れば, 各相電流を I_{ab}, I_{bc} は,	 れば, 各相電流 I_{ab}, I_{bc} は,
163	図4・29		 下側の電力計のみ W_1 から W_2 に変更
196	表中の回路図	 V_B V_C ベース接地	 V_B V_E コレクタ接地
226	下から 9行目 下から 8行目	$P_1=V_{12}I_1 \cos(30^\circ-\theta)=$ ~略~ (6・6) $P_1=V_{23}I_3 \cos(30^\circ+\theta)=$ ~略~ (6・7)	$P_1=V_{12}I_1 \cos(30^\circ+\theta)=$ ~略~ (6・6) $P_2=V_{23}I_3 \cos(30^\circ-\theta)=$ ~略~ (6・7)